



余市宇宙記念館からのお知らせ



天体観望会

日時 3月16日(土)

午後6時30分～8時

集合場所 宇宙記念館正面入口

観測対象 冬から春の星雲・星団

※悪天候の場合は中止します。また、

屋外での観望会となりますのであ

たたかい服装でご参加ください。

申込み 不要・現地集合・無料

冬期間の記念館運休について

観覧について

宇宙記念館は4月19日(金)まで、展示施設の観覧は休止しています。

平成31年度の観覧は4月20日(土)よりスタートします。

施設の利用について

冬期間は宇宙記念館を有効に活用していただくため、多目的シアターや会議室などの各施設を有料で利用できます。

コンサートや講演会、教室の開催や会議等にご利用ください。料金や席数、面積など、詳しくはホームページをご覧ください。



申込み・問合せ

余市宇宙記念館

(☎21-2200)

星の明るさについて

空に見える星には、明るい星や暗い星があります。

天文学では、星の明るさを表すのに「等級(ごうきゅう)」という単位を使っています。

数字が小さいほど明るく、マイナスがつくと、もっと明るいことを示しています。

等級が1.0変わると明るさは2.5倍増すので、1等級と6等級では100倍も違うことになります。

惑星のように、地球と太陽の位置関係により表面積が変化して、明るさが変わるものは、そのときの明るさを等級で表します。

金星の場合は、もっとも明いときには、マイナス4.9等級、もっとも暗いときにはマイナス3.8等級となります。

一番明るい太陽は、なんと約マイナス27等級、2番目に明るい満月は約マイナス13等級となります。

また、シリウス(おおいて座)はマイナス1.5等級、スピカ(おとめ座)とアンタレス(さそり座)は1.0等級の明るさとなります。

星の明るさ表(1等級の明るさを1とした場合の各等級の明るさ)

等級	-4等級	-3等級	-2等級	-1等級	0等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級
星の明るさ	100	40	16	6.3	2.5	1	0.4	0.16	0.063	0.025	0.01
	← 明るい					暗い →					

ほしぞら情報

国立天文台のホームページから3月のほしぞら情報をお届けします。

(www.nao.ac.jp/astro/sky/2019/03.html)

★月

新月は7日、満月は21日です。

★金星

日の出直前の南東の低空に見えます。明るさはマイナス4.1等級からマイナス4.0等級です。

★火星

おひつじ座を東に移動し、下旬におうし座に移ります。宵の西の空に見え、明るさは1.2等級から1.4等級です。

★木星

へびつかい座を東に移動しています。日の出前の南の空に見え、明るさはマイナス2.0等級からマイナス2.2等級です。

★土星

いて座を東に移動しています。日の出前の南東の低空に位置し、明るさは0.6等級です。

余市宇宙記念館

サポートボランティアを

募集しています!

※上の記事の詳細は余市宇宙記念館ホームページ (<http://www.spacedome.jp>) をご覧ください!

余市宇宙記念館では『館内案内パンフレット』に掲載する広告を募集しています。

申込み期間 3月1日(金)～13日(水)

申込み・問合せ 宇宙記念館 ☎21-2200 (※詳細は町ホームページをご覧ください)

広告